

「なりたい自分」を超える。 「想像以上の自分」へ。

研究・開発分野の理工系スペシャリストへ。

知識や技術をさらに深め、より実践的なものに発展、
想像していた未来の姿「なりたい自分」をさらに超えた
「想像以上の自分」になるために・・・新たな階段を駆け上がりませんか。
可能性は無限です！



To the next stage!



「なりたい自分」を超える。
「想像以上の自分」へ。

茨城大学大学院理工学研究科 博士後期課程

量子線科学専攻

環境放射線科学コース

環境放射線の計測技術、放射性物質の環境動態シミュレーション、低線量放射線被ばくによる発がんなどの生体影響評価などに関する教育を行い、関連分野で活躍する人材を育成します。

化学・生命コース

原子・分子レベルから物質の真理を探究し、さまざまな物質の構造と機能を明らかにしながら、機能性材料の開発や機能性物質の創製に取り組んでいます。粒子設計や結晶構造解析などを行っています。

物質量子科学コース

物質科学、物理学および量子線計測を横断的に学び、物理現象の解明や新しい材料の開発に取り組む人材を育成します。高度な専門知識を身に付け、社会の要請に応える専門技能を習得します。

ビームライン科学コース

中性子、ミュオン、X線などの複数の量子線をプローブにして物質生命研究やビームライン技術の開発に取り組んでいます。J-PARCやPhoton Factoryとの地の利を活かした実習が特色です。

複雑系システム 科学専攻

科学技術システムを構成する多種多様な個々のシステムのうち、先端技術産業に代表される「ものづくりシステム」、人間生活に不可欠な一次産業とも深く関わる地球環境システム分野を中心として教育研究を行い、自然システムと人間社会の複雑なシステムの理解と運用に貢献する人材を育成します。

社会インフラシステム 科学専攻

エネルギーや情報、物的施設という人間社会の基盤として不可欠な社会インフラ要素の生成、伝達、保存、有効利用などに関する分野を対象にして、地球に優しい、安全・安心で持続可能な社会の構築に高度な専門知識をもって取り組む広い視野と高い研究力をもった博士レベルの高度専門職業人を育成します。

「なりたい自分」を超える。あなたの夢を全面サポートします!!

脱炭素社会のための量子線マテリアル創造フェロースhip奨学生募集

茨城大学に入学した博士後期課程の学生で、経済的援助を必要とし、かつ、学業成績優秀な学生を対象に奨学生を募集します!

1. 奨学金(主に生活費) 192万円/研究費:58万円

2. 採用人数 6名

3. 応募資格

- 茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程に2021年に入学した者および次に掲げる者
- ① 社会人ではない者
 - ② 日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではない者
 - ③ 研究活動の状況を定期的に茨城大学大学院理工学研究科SDGs、脱炭素社会のための量子線マテリアル創造フェロースhip実施委員会(仮称)(以下、実施委員会)に報告し、指導教員グループから選出されるメンターによる面談を定期的に受けることができる者
 - ④ 奨学金の計画をしている研究について、実施委員会が指定する研究分野である者
 - ⑤ 令和3年4月1日時点で30歳未満である者。ただし、出産、育児等ライフイベントを経て30歳以上の者については、A4サイズの任意の用紙(要署名)に理由を書いたうえで事前に指導教員を経由して担当部署まで連絡を行うこと
 - ⑥ 奨学生応募の時点で学会発表2回以上、学術雑誌(査読付き)論文発表1編以上、表彰1回以上のいずれかを満たしているか、それと同等であると実施委員会から認められた者
 - ⑦ ティーチングアシスタント(TA)およびリサーチアシスタント(RA)に従事せず研究に専念できる者

4. 審査方法

申請書および面接(プレゼンテーション10分+質疑応答10分)により審査する。
面接では以下の点を審査する。

- ・博士後期課程で学びたいこと、身につけたいこと
- ・研究計画の内容(目的、手法、特色など)
- ・研究計画に関連する口頭試問
- ・研究分野の適合性

各100点 合計400点

5. 奨学金の支給

奨学金:月1回支給予定(毎月17日または月初めに支給予定)
研究費:5月に一括配分

6. 支給の取り消し

- ① 退学または除籍となったとき
 - ② 死亡または行方不明となったとき
 - ③ 申請書の記載に虚偽があったとき
 - ④ 博士後期課程を3年間で終了できる要件に達しなかったとき、または、早期修了をしたとき
 - ⑤ 応募資格の履行状況が不十分と認められたとき
 - ⑥ 懲戒処分を受けたとき
 - ⑦ 実施委員会が成業の見込みがないと判断したとき
 - ⑧ 奨学生本人から辞退の申し出があったとき
 - ⑨ その他学長が奨学金の給付が不適当と認めたとき
- ※上記により支給の取り消しがあった場合は、支給した奨学金の全額または一部を返納させることがあります。

7. その他注意事項

- ① 奨学生は、研究成果等の報告書を作成してください。メンターと年4回の面談をした後、指導教員グループに研究成果報告を行ってください。報告書の提出期限は毎年2月末です。
- ② 入学科・授業料免除と本奨学金を重複して申請することは可能です。
- ③ 他の奨学金の申請をする場合は必ず理学部学務グループ、または工学部学務グループにお申し出ください。
- ④ 学内の奨学金は応募できません。

8. 本奨学金が対象となる研究分野

マテリアル分野

お問い合わせ先

茨城大学 水戸キャンパス(理学部学務グループ)
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
tel.029-228-8332

茨城大学 日立キャンパス(工学部学務グループ)
〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1
tel.0294-38-5010



茨城大学大学院理工学研究科
Graduate School of Sci. and Eng., Ibaraki Univ.

